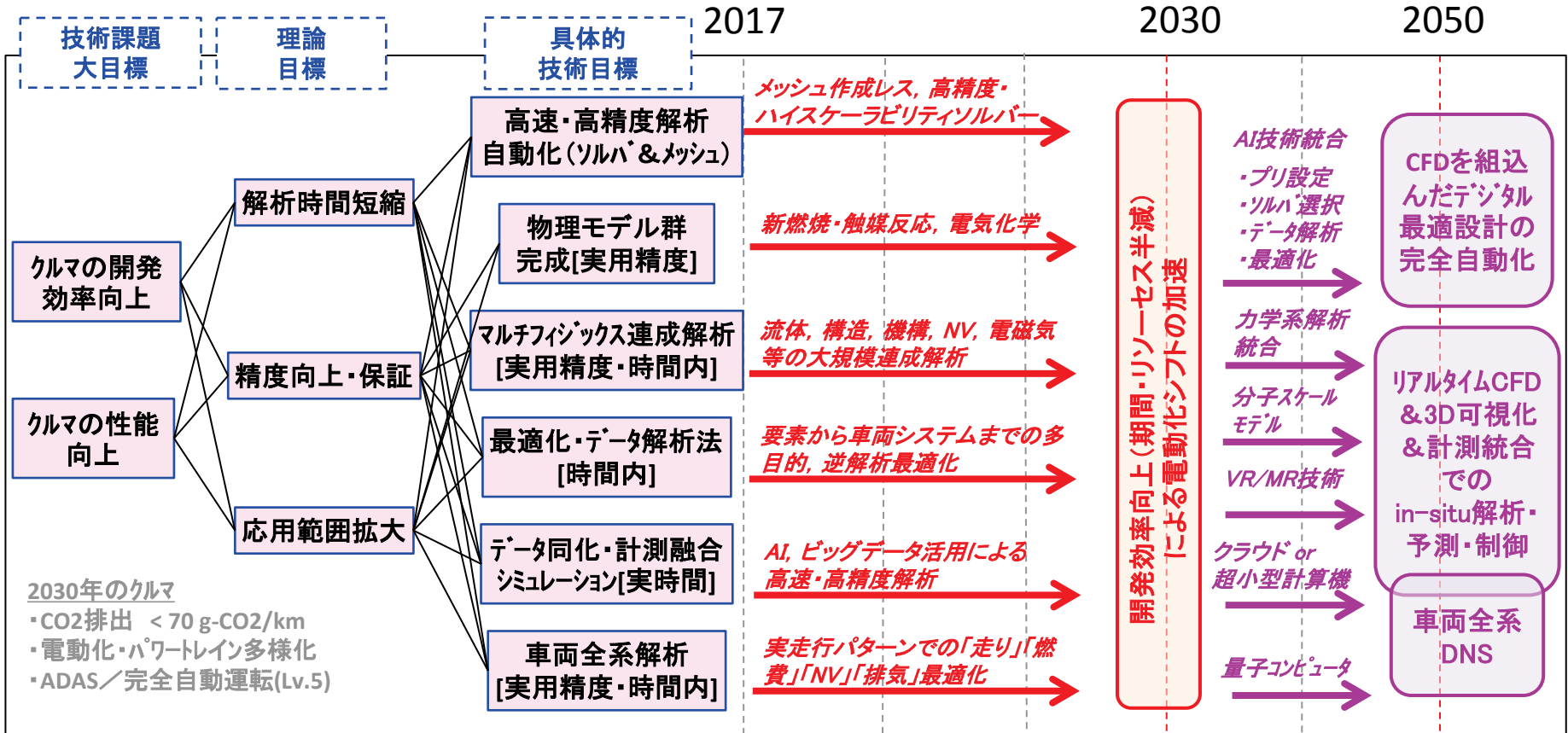


30_CFD技術部門委員会

扱っている技術テーマ：基礎力学分野における熱・流体から計算力学、共通基盤（CAE、シミュレーション/モデリング）技術



2030年へは現状の手法・モデル等のレベルアップが図られ、電動化、パワートレイン多様化、自動運転に対応した車両開発へ貢献。2050年、CFDはリアルタイム実行、風洞／ベンチ環境で実測精度以上、実走環境再現が達成され、「バーチャル」の枠組みが外れて「リアル」と等価な存在となる。また、制御システムや自動設計ツール、車両全系マルチフィジックスシミュレータなど多様な場面に3D CFDが組み込まれ、専門的な評価ツールから“一つの物理モジュール”へと昇華する。

- ・量子コンピュータとそれを利用した新たな熱流体シミュレーション技術の実用化。